総合計画実施計画策定及び行政評価シート

対象年度	令和 4年度

事務事業名	公共交通整備事業	予算事業名	公共交通整備事業費

予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分
			02	01	15	11	経常経費

根拠法令	

総合計画体系	
	住みたい・住み続けたい　安全・快適な都市を目指そう
	快適で住みやすいまちづくり
	公共交通ネットワークの充実

事業の区分	主要事業
	重点事業
担当課係等	企画政策課
	公共交通整備係

事業期間	継続　（平成16年度～　　年度）

【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】

公共交通として安定した運行を図る。

【事業開始のきっかけや他市の状況など】

市内を運行していた民間路線バスが廃止され、その公共交通空白地域の補完のため、平成１６年５月、市政５０周年事業の一つとして試行開始された。

【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】

・地域公共交通会議の運営
・地域住民の利便性と住民福祉の向上を図るため、市内病院や公共施設等を結ぶ８路線を設定し、月曜日から土曜日まで、市内巡回バスを運行する。
・持続可能な公共交通ネットワークの構築を図るため、地域交通のマスタープランとなる地域公共交通計画を策定する（令和３年度）。

【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】

市内を移動する方

【事業をとりまく環境の変化】

当初想定される主な利用者が高齢者ということで、高齢福祉担当で事業を実施してきた。しかしながら、利用者の多様化が進み、路線及び運行ダイヤにおいて充実してきており、市の公共交通の一つとなっている。　令和２年10月には、安全性の確保、整備管理者及び乗務員の確保、サービス拡充を図るため、巡回バスの運行管理を民間委託した。

【令和 4年度　事業内容】	【令和 5年度　事業内容】	【令和 6年度　事業内容】
市内巡回バスの安定運行 老朽化した車輌の更新 市内巡回バスダイヤ改正(令和５年度以降に再編)	市内巡回バスの安定運行 老朽化した車輌の更新	市内巡回バスの安定運行 老朽化した車輌の更新

■事業費

		R02年度	R03年度			
財源内訳	国庫支出金	0	2,965			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	22,115	30,038			
歳入計（千円）		22,115	33,003			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	07 報償費	60	132			
	08 旅費	0	4			
	10 需用費	1,260	63			
	11 役務費	114	0			
	12 委託料	20,649	32,701			
	18 負担金補助及び交付金	20	103			
	26 公課費	12	0			
歳出計（千円）（Ａ）		22,115	33,003			
伸び率（％）			49.23			

備考	総合計画７０ページ　　予算書５３ページ

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指　標　名	単　位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	巡回バス運行回数	回	目標	10,746.00	10,746.00	10,736.00
	年間の巡回バス運行回数		実績	9,755.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	年間利用者数	人	目標	29,000.00	30,000.00	30,000.00
	年間の巡回バス利用者延べ人数		実績	18,917.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市内の医療機関、金融機関、スーパー、公共施設等へのアクセスの確保や移動手段として必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	民間事業者へ運行管理を委託したことにより、さらなる安全性の確保、整備管理者及び乗務員の確保が図れている。
	手段の妥当性	A 妥当である	市民の移動手段として幅広い方が利用できることから、事業実施の手段としては妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	民間事業者に運行管理を委託したことにより、シルバー人材センターから乗務員の派遣を受けていた時よりコスト効率性は低くなった。しかし、整備管理者の配置や運行安全性の確保が図れているため、人員効率は良い。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	誰でも利用できるため偏りは見られない。一方、無料運行に関して受益者負担の観点から料金を取るべきとの意見もあり、今後検討が必要である。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	令和元年度までは利用者数が増加傾向にあり、事業成果は上がっているといえる。しかし、令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止による外出自粛の影響で、利用者数が減少した。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	令和２年10月に運行管理業務を民間委託し、令和３年度は委託２年目となる。

総合評価　　上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

安全運行の徹底
バスの利用促進

対応策提言等　この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

バスの増便や循環ルートの逆回りを要望する声が上がっているため、巡回バスのダイヤ改正について検討していく。
公共交通計画の策定により、地域の公共交通網のあり方を整理し、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指す。

■方向性

１次評価（１次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
□拡充（人・モノ・カネ等の拡充）　■改善改革しながら継続　□現状のまま継続（改善・改革なし）　□統合・新規事業への展開
□縮小　□休止　□廃止・終了　□予定どおりの要求　□一部改善の上要求　□今回は見送り　□その他の処置

方向性の具体的内容
高齢社会の進展等により公共交通へのニーズも高まりをみせている。住民の利便性や利用状況、費用対効果等を総合的に勘案しながら、公共交通の在り方を検討していく必要がある。

２次評価（２次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
□拡充（人・モノ・カネ等の拡充）　□改善改革しながら継続　□現状のまま継続（改善・改革なし）　□統合・新規事業への展開
□縮小　□休止　□廃止・終了　□予定どおりの要求　□一部改善の上要求　□今回は見送り　□その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（１次評価者と同じ場合も記入）
上記評価のとおり。